

ひたち  
生き生き  
百年塾

熟年研究会 会報

見る・聞く  
さがす  
夢がある

発行NO 第 3 号  
発行日 平成9年 4月 2日  
発行元 熟年研究会  
事務局 生涯学習課  
電話 0294(24)7744

平成8年度の活動を振り返ると共に  
平成9年度の課題について

【課題共同体】

代表世話人 掛札 優

平成8年度の熟年研究会活動を振り返ってみますと、初めてにしては及第点と思っています。この様に評価出来るのは学習会などに多くの方が参加して頂いている為であり、計画を立て推進して頂いた会員の方々、学習会に参加して頂いた準会員の皆様に厚く御礼申し上げます。平成9年度は、アンケートによる皆様のご意見を入れて更に充実した内容を計画中ですのでご期待下さい。さて、高齢社会・男女共生・地球環境問題などの社会的公正のため、運命共同体・利益共同体に対して“課題共同体”(共通課題を共同で解決する社会)の活動が活発になって参りました。

阪神淡路大地震ボランティア・NGOなどが“課題共同体”であり、レベルは別として、熟年研究会も「定年後を生き生きと楽しく、社会のお役に立って生きる」課題に取り組んでいるので“課題共同体”と言えます。自分が定年になって二年半、「定年後を生き生きと楽しく、社会のお役に立って生きる」ために学んでみると、一人では出来ない事が多く、“課題共同体”での対応の必要性を痛感します。何時の間にか“利益共同体”(会社)の生活に慣れきってしまった頭を叱咤激励しながら、出来るだけ多くの仲間と“課題共同体”で変身して行きたいと考えています。



(第4～8回学習会を振り返って)

◆第4回学習会 嶋野 末吉  
「日立の歴史を知るために」

歴史は楽しい。歴史は先人の残したキラメク宝石である。「どこから、どうやってこの宝石を拾うか。」が私に課せられた講義のテーマであった。それも二時間の中で、である。そこで、地名、城、神社仏閣、伝説、有名人、諸碑石等、身近なもの、眼につくものから勉強するのがよい。と話した。内容はいくつかの話をオムニバス風に組み合わせしてみた。資料もそれに役立つものをと集めたつもりである。反省は、①話を多く広げ過ぎた。②話に関係のない資料はやめて、話の内容のみのものにすべきだった。しかし、やっぱり歴史は楽しい。この歴史を学ぶためには「眼で見る勉強」が加

われは、宝石はさらに輝く筈である。  
一緒にヤル人イマセンカ。



◆第5回学習会 国安 滋  
「あなたの為の年金講座」  
◆第7回学習会  
「ごみ」について

昨年二月三日、茨城大学小島教授による講演会「楽しい熟年を迎えるために」を開催し、吾らが熟年研究会が発足し早や一年が経過しました。今思えば、小島教授の余談として「楽しくお迎えをむかえるには」を聞き、洗脳され感激し発憤した事が、熟年研究会の全学習会に出席できたものと、思います。二つの学習会を実施するに当たり、ご多忙の中ご参加頂き有り難うございました。



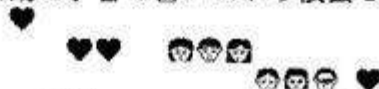
◆第6回学習会 藤島 範雄  
「ボランティア活動について」

“ボランティア”と言う言葉は、漫然と聞き流して来た言葉ではあるが、正面から向き合って学習することは少なく、第一線で指揮されている、大塚事務局長による学習会は、有意義であったと思います。日立市福祉の概要から歴史、ボランティア活動の意義と活動現況に至る説得力ある説明で、会員の皆様も更に理解を深められた事と思います。次回は、現場の実践者によるボランティア活動の、生きた学習会を予定しておりますので、ご期待下さい。



◆交流会 山川 敏夫  
様 敏・勤 研

平成8年の年末を迎え、会員相互の親睦を図ると共に意見交換の場合として、江尻芳枝さん(第1回学習会のバネラー)にも参加して頂き、30余名の会員が一堂に会して交流会を開催した。掛札代表世話人の挨拶と熟年研究会の活動報告、江尻さんの会員にたいする励ましのことは、ついで三代きみゑさんの音頭で乾杯を行い、しばし、お互いの夢のある歓談が続いた。宴たけなわのなか、ハモニーフレンズの演奏により懐かしい童謡を合唱し、心身ともに幼少にかえったひとときを過ごすことができた。最後に、神永 晃さんの三本締めで、若々しい明日への活動を、皆で誓いながら散会した。



## 平成9年度の役員紹介

平成9年度の役員として、下記の方々が担当することになりました。前年度同様会員皆様の変わらぬご協力を、お願い申し上げます。

- ★★代表世話人・・・・・・・・掛札 優
  - ★副代表世話人・・・・・・・・末松 倫枝
  - ☆ 世話人(雑資料担当籍)・・梅津 隆
  - ☆ 世話人(記録担当籍)・・江田 実
  - ☆ 世話人(会計担当籍)・・山川 敏夫
  - ☆ 世話人(会報担当籍)・・小池 彪
- ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆

## 平成9年度の活動計画紹介

平成9年度の活動計画は、下記のごとくです。会員皆様のご協力をお願い致します。

実施NO	月日	学習題目	学習概容
1	4月26日	(1)部 総会 (2)部 第二の人生について	平成9年度の活動方針他の説明。 定年後の生き方について意見交換を行う。
2	5月	私の定年後の生き方	定年後を生き生きと、生きている先輩に学ぶ。
3	6月	日立市の課題と対応策	市の問題点を知り、何をすべきか考えよう。
4	6月	茶の心	茶道は日本人の心です。 お茶を頂きながら、楽しみましょう。
5	7月	日立市(南部地区)再発見	バスで旧跡などを巡り日立のよさを再発見。 ●●● 泉が森⇒大塚307号⇒日立研究所⇒日立倉庫など
6	8月	地域活動について	コミュニティの目的と諸活動を学習する。
7	9月	定年後の病気と初期診断法	早期発見をするためのノウハウを学ぶ。
8	10月	日立市の歴史	歴史を楽しく学ぶために、身近な日立市の歴史から学習。
9	10月	ふるさと巡り	ふるさとを歩きながら、ふるさとを楽しむ。
10	11月	私のボランティア	ボランティアについて、皆で考える。
11	12月	(1)部 学習会のまとめ (2)部 交流会	学習内容などをベースに意見交換する。 会員同志の親睦を図る。
12	計画中	パソコン	これからは、パソコンの時代です。 パソコンの操作や活用の手ほどきを受ける。

※①②③⑤⑥⑦⑧⑩⑪・・・・は基礎学習、2時間/回  
④⑨・・・・お楽しみ学習、費用は実費徴収。会員以外の参加可。  
⑫・・・・基礎講座、継続実施。

\*\*\*  
お知らせ

平成9年度の会費2,000円/年は、  
第一回学習会実施日4月26日に、納入  
して下さい、お願い致します。

【頭の体操】  
虫の名前です。  
読んで下さい。  
蜻蛉・飛蝗・蟻螂  
糞虫・蟋蟀・蛭  
蠅虫・蚯蚓・蠍

新聞の掲載記事の紹介を致しましょう。

明治生まれの母は、八十六歳。二度目の脳卒中そのため入院し、鼻からチューブを入れた喪たきり状態になってしまった。  
左半身がまひし、わずかに動く右手も、「鼻のチューブが、事情が、読まない。」  
「かあさん、ごめんね。また来るからね」と言葉をかける、いづしお母を立って行く。六人部屋は老人だけ。ど人も同じような状態、自由を奪われたまま、患者同士顔を合わせることもなく、馬場高橋市・須田すみ子(51)



「ふるさ」と書かれている。そんな姿を見てると、「ふるさ」と書かれている。そんな姿を見てると、  
「ふるさ」と書かれている。そんな姿を見てると、  
「ふるさ」と書かれている。そんな姿を見てると、  
「ふるさ」と書かれている。そんな姿を見てると、

### 【編集後記】

平成8年度は、大変お世話になりました。本年度も相変わらず、宜しくお願い申し上げます。  
会報第3号を、お届け致します。ご意見、トピックスなど気軽にお寄せ下さい。

(小池 彪)